

令和8年度 調布市立国領小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標

- ◎よく考える子・・・[自ら考え表現する子供]「創造性」【問題解決能力】
- 仲良くする子・・・[自他を大切に作る子供]「思いやり」【人間関係形成能力】
- 元気な子・・・[自ら心と体と鍛える子供]「挑戦」【自己指導能力】

目指す学校像(ビジョン) 例)学校像、教員像、児童・生徒像

「認め合い、高め合い、笑顔あふれる 素敵な学校」

ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	主体的で対話的な深い学びの充実と個別最適な学びの充実を図ることで、児童一人一人が互いを認め合う風土を育み、さらに学ぼうとする意欲を高める学校として、自他を尊重し、互いを認め合う関係から、思いやりの心を育てていく。また、保護者・地域も教育活動への参画・支援・協力を通して、共に学び、育ち合う学校づくりを推進し、国領小学校にかかわる人すべてが「認め合い、高め合い、笑顔あふれる素敵な学校」を目指す。
-------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組 ① 学習活動 ②単元構成 ③思考の深まり ④ICT活用 ※ 授業改善における共通の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉の特徴や使い方を理解し、目的や相手に応じて適切に使うことができる力。 ◎言葉による見方・考え方を働かせながら、叙述や資料を基に読み取り、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる力。 ・ 言葉を通して人と関わることのよさを感じながら、進んで思いや考えを伝え合い、自らの学びを深めようとする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 「読む」「書く」「話す・聞く」を相互に関連付け、循環させる学習活動を展開する。ペアやグループでの話し合い、相互評価など、協働的な学びを多く取り入れる。 ② 目的や相手意識を明確にした言語活動を設定し、単元の学習に見通しをもって学べるようにする。 ③ 読解力や思考力を養う「比較する」「関連付ける」「自分の考えを根拠とともに説明する」活動を取り入れる。問いを立て、自分なりの視点で読んだり、伝え方を選んだりできる活動を設定する。 ④ 自分の思いや考えを文章や図で可視化したり、児童同士で意見を共有・比較したりするツールとして、ICTを活用する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的な事象に関する基本的な知識と、それを支える調査・表現できる力。 ◎社会的な「見方・考え方」を働かせ、社会的な事象の特色や相互の関連、意味を多面的・多角的に考え、課題を解決する力。 ・ 社会へ関わろうとする意識や、自らの学びを調整することができる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 資料から読み取り、自分の考えを友達と対話的に伝え合う活動を設定する。 ・ 教材を工夫する。(身近な地域教材 等) ② 学習問題を基に、見通しをもって追究する単元を構成する。 ・ 問題を解決する順序や方法を自由に選択できる時間を意図的・計画的に設定する。 ③ 社会的な事象の背景や関連性などについて、多面的・多角的に考えさせる。 ・ 発問を工夫する。(位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して、社会的な事象を捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民生活と関連付けたりできるようにする) ④ 地図帳や地球儀、統計、年表、ICTなどを適切に活用しながら必要な情報を効果的に収集・整理・共有させる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数量や図形についての基礎的・基本的な概念や性質を理解し、数学的な活動を行う基礎的な力。 ◎ 数学的な見方・考え方を働かせながら、事象を数量や図形及びそれらの関係に着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、表現することができる力。 ・ 数学的に考えることのよさに気付き、問題解決に向けて粘り強く考え、学びを生活や学習に生かすことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ① 自分の考えを図や式を用いて説明する活動を設定する。 ・ 線分図・面積図・表・式を使って数量や関係を表し、その図や式を根拠に自分の考えを説明する活動を取り入れる。 ② 問題解決の流れを意識した単元を構成する。 ・ 生活場面の問題提示→見通し→解決→振り返りの流れを明確にし、自分で考え試行しながら学ぶ単元を構成する。 ③ 数量や図形の関係に着目して筋道立てて考えさせる。 ・ 数量の変化や図形の構造に注目させ、「なぜそうなるか」の根拠をもって説明させる活動を通して筋道立てて考える力を育てる。

	力。	④ ICTを活用して図や考えを共有し、比較・検討させる。 ・ 児童の図や式を共有し、考え方の違いや共通点を比較する場を設け、よりよい解法や表現へと考えを深める学習を促す。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然の事象や現象について理解を深めるとともに、観察や実験を通して習得できる基礎的、基本的な力。 ◎ 理科の見方、考え方を働かせながら、自然の事象や現象の中から課題を見出し、予想や仮説を基に考察し、自分の考えを表現することができる力。 ・ 自然に親しみながら進んで関わり、見通しをもって観察・実験に取り組み、自ら解決できる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 自然事象から課題を見付け、自ら問題を解決しようとする場の設定をする。 ② 問題づくり、問題、予想、計画、実験・観察、考察、まとめの流れを分かりやすく示し、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。 ③ 一人一台、または二人一組で実験を行うことで一人一人が主体的に観察・実験にかかわり、自分の考えが深まるようにするとともに、単元の学習後には日常生活に関連した課題を提示することで、学んだ内容が活用できるようにする。 ④ 観察・実験では、繰り返し確認する必要がある内容や変化の様子がわかるものを中心に一人1台モバイル端末を活用して写真や動画を効果的に記録する。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身、身近な人々、社会及び自然のよさに気づき、それらと自分との関わりを理解することができる力。 ◎ 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉えながら、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる力。 ・ 身近な人々や自然に進んで関わり、意欲をもって生活をよりよくしようとする力。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 普段の生活の振り返りや体験活動を通して、自分自身や身近な人々、自然のよさに気づき、交流する活動を設定する。 ② 身近な人・社会・自然と関わる事柄について、自分との関わりから課題を設定し、具体的な活動や体験を通して課題を解決する単元を構成する。 ③ 身近な生活にかかわる見方、考え方を比較・関連付けて考えさせる。 ④ 一人1台モバイル端末で活動の様子を記録し、振り返りに活用させる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な力。 ◎ 音楽的な見方・考え方を働かせながら、音楽を形づくっている要素やその働きに着目し、聴き取ったことや感じ取ったことを基に考え、表現することができる力。 ・ 音楽活動の楽しさを味わいながら、友達と協働して主体的に音楽に関わることができる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 音楽の特徴を感じ取り、表現する活動を意図的に多く設定する。 ② 表現と鑑賞を関連付けられるよう、単元構成や題材を工夫する。 ③ 音楽を形づくる要素に着目して考えさせるために、友達と協働しながら主体的に学習に取り組めるようにする。 ④ 一人1台モバイル端末を活用して比較聴取したり、演奏を録音したりして、共有・振り返りをさせる。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 形や色などの造形的な視点について理解するとともに、材料や用具を適切に活用し、表したいことに応じて表現することができる力。 ◎ 造形的な見方・考え方を働かせながら、形や色、材料などから発想を広げ、自分の思いやイメージを工夫して表現する力。 ・ つくりだす喜びを味わいながら、すすんで表現や鑑賞に関わろうとすることができる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 児童が自ら思いをもち、形や色から意欲的に発想を広げる造形活動を設定する。 ② 児童同士が学び合う活動を重視し、表現と鑑賞を関連付けた単元を構成する。 ③ 個別最適な学びを目指し、個々の感性を生かしながら、材料や道具の使い方を工夫して表現する力を付ける。 ④ 一人1台モバイル端末を活用し、作品や表現の工夫を共有したり、共感したりしながら振り返りを深める。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族や家庭、衣食住、消費や環境など、日常生活に必要な基礎的なことを理解し、実践する力。 ◎ 生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、生活の中から課題を見いだし、よりよい生活に向けて工夫し、実践する力。 ・ 家族の一員として生活をよりよくしようと、主体的に家庭生活に関わろうとすることができる力。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 生活の課題を見付け、実践する活動を設定する。 ・ 教師が間近で手本を見せたり、動画を使用してポイントをおさえたりする。 ② 実生活と関連付けた単元を構成する。 ・ 写真や動画など一人1台モバイル端末を活用することで、実習や制作の中で、自分で確かめながら学習できるようにする。 ③ よりよい生活に向けて工夫する方法を考えさせる。 ・ 学習した内容を家庭でも実践していけるよう、家庭との連携を図る。 ④ 一人1台モバイル端末で実践の様子を記録し、共有・振り返りさせる。

<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種の運動の行い方や健康・安全について理解するとともに、それらを楽しむための基本的な技能。 ◎ 体育の見方・考え方を働かせながら、自己の課題を見いだし、その解決に向けて考えたり、友達に伝えたりすることができる力。 ・ 運動に進んで取り組み、友達と協力しながら、粘り強く学習しようとする力。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 自己の課題に応じて運動に取り組めるよう、場や教具を工夫する。 ② 運動の特性や課題解決を意識し、児童が主体的に運動できる単元を構成する。 ③ PDCA サイクルを取り入れ、自己や他者及び集団の課題や改善点を考えさせる。 ④ 一人1台モバイル端末で動きを撮影し、自己の活動を振り返ったり課題を見付けたりさせる。
<p>外国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語の音声や文字、語彙、表現などについて理解するとともに、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションに必要な基礎的な力。 ◎ 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら、目的や場面、状況に応じて、自分の考えや気持ちを伝え合う力。 ・ 外国語を通して人と関わることや異文化理解を深めながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする力。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 自分の考えや気持ちを伝え合う活動を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えたことを伝え合う時間を計画的に設定する。 ② 目的や場面を意識した単元を構成する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の中で使うような言語活動を行う。 ③ 相手や目的に応じて表現を工夫できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的な表現を繰り返すために、ALTと連携する。 ・ 映像資料を多く用いて、外国の文化への理解を深める。 ④ 音声や動画を活用し、表現を共有できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人1台モバイル端末を活用することで主体的に自分の考えを表現できるようにする。
<p>道徳科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳的価値について理解し、よりよく生きるために必要な力。 ◎ 道徳的な見方・考え方を働かせながら、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めることができる力。 ・ 友達との対話を通して、多様な考えに触れ、自分の考えを広げたり深めたりしながら、よりよく生きようとする力。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 児童が自ら問いをもち、自分との関わりで考えられる発問や学習課題を設定し、自己を見つめられるようにする。 ③ 児童が見通しをもって学習に取り組めるよう、学習過程や振り返りを意識した授業展開を工夫する。 ④ 児童同士の対話を充実させ、多様な考えに触れられるようにする。 ⑤ 一人1台モバイル端末を活用し、一人一人の考えや価値観を共有・可視化できる場を設定する。
<p>外国語活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語による音声や基本的な表現に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る素地となる力。 ◎ 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる力。 ・ 外国語を通して人と関わることを楽しみながら、進んでコミュニケーションを図ろうとする力。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 友達と対話しながら外国語で伝え合う活動を設定する。 ② 身近な場面と関連付ける学習活動を取り入れることで外国語で表現することに親しみを感じられるようにする。 ③ 相手や場面に応じて表現を選択させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語の基本的な表現に慣れ親しむために、一人1台モバイル端末の活用やALTとの対話など多様な学習環境を用意する。 ④ 音声や動画で表現の仕方を確認したり、友達と共有したりする場面を積極的に取り入れていく。